



ボッシュ 2021 年度暫定決算： 予想を上回る売上高と EBIT を計上 クライメートアクションが成長の原動力に

2022 年 2 月 9 日

PI11433 RB Ka/Bär

- ▶ 2021 年の売上高は 2019 年の水準を超える 788 億ユーロ、支払金利前税引前利益 (EBIT) は 32 億ユーロに到達
- ▶ ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長のシュテファン・ハルトウング: 「クライメートアクションが私たちの事業を推進しています – 私たちは有利な立場にいます」
- ▶ マルクス・フォーシュナー: 「私たちは、有望な新分野に投資し、自らの道を歩み続けています – 幅広い多様化が実を結びつつあります」
- ▶ フィリズ・アルブレヒト: 「変革は、社会的責任を果たしながら雇用を見直す機会をもたらします」
- ▶ マルクス・ハイン: 「私たちは、車載ソフトウェア市場での地位を拡大し、2 桁成長を続けています」

シュトゥットガルト (ドイツ) – ボッシュ・グループは 2021 年、売上高と業績を大幅に伸ばしました。暫定決算報告によると、¹ 総売上高は 10% 増の 788 億ユーロとなりました。グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュの売上成長率は、為替調整後で 11% でした。支払金利前税引前利益 (EBIT) は、50% 以上増加して 32 億ユーロに達しました。これにより支払金利前税引前利益率は、前年の 2.8% に対して、約 4% になる見込みです。「ボッシュの 2021 年の業績は、予想よりはるかに好調でした」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長である [シュテファン・ハルトウング](#) は暫定決算報告の発表に際して述べています。「供給のボトルネックと原材料の価格高騰による費用負担といった多くの課題がありましたが、予想を上回る結果となりました」。ハルトウングが言う「ソーシャルディスタンス時代の団結」も、事業の成功の大きな要因でした。「従業員の努力と、お客様、サプライヤーおよびビジネスパートナーの信頼に感謝しています」と続け、ボッシュ・グループがグローバルで一丸となり、「Invented for life」を体現するテクノロジーを開発し続けることで、現在の課題に対応したいと語りました。「ボッシュは多くの分野において技術的先駆者であり、今後も維持したいと考えています」。そのためにボッシュは、戦略的に重要な分野に多額の投資を続けており、中でもマイクロエレクトロニクスと e モビリティへの投資額は、今年だけで合

¹ 内部報告に基づく。

計約 10 億ユーロにのぼります。同時に、先日発表された自動運転分野でのフォルクスワーゲンとの業務提携など、パートナーシップもますます注力しています。

さらにハルトウングは、クライメートニュートラル経済への移行を目指す多くの国の取り組みが、今後の成長を大きく刺激することを期待しています。「モビリティソリューションズや産業オートメーションから、ビルディングテクノロジーと家電製品に至るまで、クライメートアクションが私たちの事業を推進しています」と、ハルトウングは述べています。「そしてネットワーク化と AI のおかげで、エネルギー効率は向上し続けるでしょう」。この流れでポッシュは、ネットワーク化された電動工具、家電製品およびヒーティングシステムの販売台数を、2020 年の 400 万台から 2021 年には 600 万台以上へと 50%増加させることができました。

ポッシュは電動化を通じた成長でクライメートアクションを強化

ポッシュは、EU のグリーンディールの目標に向けて取り組んでいます。各事業セクターは、地球温暖化防止のための幅広い対策をすでに実施しており、ポッシュは世界の 400 拠点において、2020 年の第 1 四半期からクライメートニュートラルを達成しています。今後 2030 年までに、購買から製品使用段階に至るまでのサプライチェーン全体で、CO2 排出量を 15%削減する計画です。ハルトウングによれば、すでに電動化によってますます多くの事業が生まれています。「私たちは、e モビリティで数十億ユーロ規模の売上を生み出しています。また、家庭用ヒートポンプでも 2 桁成長を続け、産業機器テクノロジーでは電気駆動装置が大きな役割を果たしています」と、ハルトウングは語っています。彼は、これによってポッシュが有利な立場になると考えています。「ポッシュは、クライメートアクションを成長に変えています」。彼によれば、ポッシュは、クライメートニュートラルへの移行が、環境と経済の両面で成功することを実証しています。

サステナブルなモビリティ - モビリティおよび産業機器テクノロジーでの成長

ポッシュは、e モビリティでもさらなる成長の可能性を引き出しています。2021 年末からは、電気自動車の航続距離を最大 6%延長できる [SiC\(炭化ケイ素\)チップ](#) を製造しています。市場調査会社の Yole によると、SiC 市場全体は年平均 30%成長し、今後 3 年間で 25 億米ドル超に達する見込みです。ドイツ連邦経済・気候保護大臣の Robert Habeck 氏は先日、ポッシュのバンベルク工場を訪問し、定置用燃料電池(固体酸化物形燃料電池: SOFC)の量産化について説明を受けました。ポッシュは、SOFC テクノロジーによって、再生可能エネルギーへの移行において一翼を担うとともに、新たなビジネスチャンスを開拓しています。ポッシュは 2024 年までに、SOFC テクノロジーに 4 億ユーロ以上を投資し、さらに 6 億ユーロをモビリティ用途の燃料電池に投資する計画です。

さらにポッシュは、バッテリー生産用の [工場設備事業](#) にも参入しました。ポッシュでは、世界のバッテリー市場は年間で最大 25%成長していると見ており、将来性のある事業と捉えています。ポッシュはフォルクスワーゲンと共同で、量産に向けた [バッテリーセル製造工程](#) の共同開発を検討しています。ハルトウングは、「両社の共通の目標は、欧

州のサプライヤーが、バッテリー技術の量産において費用と技術の両面でリーダーになることだと、述べています。エキスパートの間では、この共同計画はクライメートニュートラルなモビリティとサステイナブルなバッテリーの量産に向けた、重要な一歩と見られています。

ソフトウェアが支配するモビリティ – 数十億規模の市場での 2 桁成長

ポッシュはまた、車載ソフトウェア開発においても成長を遂げ、自らの地位を拡大することを目指しています。モビリティソリューションズ事業セクターは毎年、独自のソフトウェアを組み込んだ 2 億個以上のコントロールユニットを世界中の車両に搭載しています。ポッシュは、車載ソフトウェア市場が、2030 年までに約 2,000 億ユーロ規模に拡大すると予想しています。「ポッシュはこの市場で 2 桁成長を見込んでいます」と、モビリティソリューションズ事業セクターの新たな責任者となったロバート・ポッシュ GmbH 取締役会メンバーの [マルクス・ハイン](#) は語りました。「モビリティ分野においても車両とインターネットの通信はますます増加しており、それによって私たちも恩恵を受けるでしょう」

ハインによれば、ポッシュはすでに、そのための戦略的な道筋を定めています。ポッシュの [アプリケーションに依存しない車載ソフトウェア](#) の製品ポートフォリオは、2022 年半ばに子会社のイータス (ETAS GmbH) に全面的に移行される予定です。イータスは、車載用ベーシックソフトウェア、ミドルウェア、クラウドサービスおよび汎用アプリケーション用開発ツールを提供することになります。加えて、ポッシュの新しいクロスドメインコンピューティングソリューション事業部は、[アプリケーション特化型車載ソフトウェア](#) を運転支援や自動運転などの機能に特化したハードウェアとともに開発します。この分野において、ポッシュは 2022 年 1 月末に、フォルクスワーゲンのソフトウェア子会社である Cariad と包括的な [パートナーシップ契約](#) を締結しました。「私たちの目標は、乗用車において部分的および条件付き自動運転を実現するプロセスを加速することです」と、ハインは語っています。「私たちの望みは、他の自動車メーカーにも利益をもたらすような市場の基準を打ち立てることです」

産業職場の変革 – トレーニングに 10 億ユーロを確保

ポッシュは雇用者としても、クライメートニュートラル経済への道を切り開くことに役立ちたいと考えています。「多くの産業が変革を実施している中で、ポッシュは、雇用を見直す機会を見出しています」とロバート・ポッシュ GmbH 取締役会メンバー兼人事労使関係担当ディレクターである [フィリズ・アルブレヒト](#) は述べました。転職を支援するためには、雇用主が「社外でも転職の見通しが立つようにする」ことが重要になっています。それゆえポッシュはドイツ国内において、労働界の変革に関する産業横断的取り組みである [Allianz der Chancen](#) に自らの幅広い経験を提供しています。「私たちは、この変化を社会的に認められるものにできると信じています」とアルブレヒトは語っています。そのためにポッシュは、従業員の配置や資格取得に向けた新たな取り組みを進めています。さらに、ポッシュは従業員のスキルアップに継続的に投資しており、過去 5 年間で 10 億ユーロ以上を投じています。

ポッシュが労働界の変革を推進しているもうひとつの方法が、ハイブリッド協働モデルです。「私たちは、『スマートワーク』の取り組みによって、リモート環境と現場での仕事の連携を体系的に構築しています。各チームは、自分たちがいつ、どこで働くのかを上司と一緒に柔軟に取り決めています」と、アルブレヒトは述べています。働く時間と場所を決めることは、ソフトウェア開発者にとって特に重要です。なぜならアルブレヒトによると、ソフトウェア開発者が大いに必要とされているからです。「ドイツ国内のクロスドメインコンピューティングソリューション事業部だけでも、現在、1,000名以上のソフトウェアエキスパートを必要としています」

2021年の業績状況 - すべての事業セクターで売上高が増加

ポッシュ・グループの総売上高は、前年比で増加しただけではなく、コロナ禍以前の2019年の実績をも上回っています。「さまざまな産業と地域にまたがるポッシュの幅広い多様化が、またもや実を結びました」と、ロバート・ポッシュ GmbH 取締役会メンバー兼財務担当取締役である[マルクス・フォーシュナー](#)は述べています。「世界的な供給不足にもかかわらず、すべての事業セクターで売上が増加しました」。最も規模が大きく、最大の売上高を生み出すモビリティソリューションズ事業セクターは、第4四半期の事業環境による制約を受けながらも大幅な成長を記録しました。半導体不足が自動車業界に極めて大きな影響を及ぼした中で、売上高は7.5%増の454億ユーロになりました。為替調整後では7.9%増でした。産業機器テクノロジー事業セクターは、特に機械工学市場の回復の恩恵を受け、61億ユーロの売上高を達成しました。名目ベースでも為替調整後でも、20%増となりました。すなわち、財務担当取締役が指摘したように、売上高はコロナ禍以前の水準に戻りました。消費財事業セクターでは、家庭用およびガーデニング用製品の需要が再び高まりました。売上高は前年比13%増の210億ユーロ、為替調整後では15%増と、前年の水準を大きく上回りました。エネルギー・ビルディングテクノロジー事業セクターの売上高は、11%増の59億ユーロ、為替調整後では12%増となりました。フォーシュナーは、「この事業は、気候にやさしいヒーティングテクノロジーに対する強い需要に支えられ、同セクターの業績は、危機前の水準を上回りました」と述べています。

2021年の業績状況 - 全地域での売上成長

「地域別に見ても、ポッシュの売上高は全面的に増加しました」と、フォーシュナーは述べています。欧州での売上高は9.3%増の415億ユーロに達し、為替調整後では10%増となりました。北米での売上高は6.5%増の115億ユーロで、為替調整後は10%増となりました。南米での売上高は32%増の14億ユーロで、為替調整後では41%増となりました。「特にこの地域は、前年にコロナウイルス感染症のパンデミックによって極めて大きな打撃を受けただけに、これは非常に明るい兆しと言えます」と、フォーシュナーは述べています。アジア太平洋地域での売上高は12%増の244億ユーロで、為替調整後では11%増となりました。

2021年の従業員数の推移 – 世界全体でわずかに増加

2021年12月31日時点で、ボッシュ・グループの総従業員数は全世界あわせて約40万1,300人でした。この約6,700人の増加は、ほとんどがアジア太平洋地域と欧州に関係しており、ドイツ国内の従業員は、約131,400人で安定しています。研究開発に携わる従業員数は、4%弱増加の76,300人になりました。世界全体のソフトウェア開発者の人数は、前年比約4,000人増の38,000人超となりました。

2022年の展望 – 世界経済には不確実性がつきまとう

ボッシュでは、2022年に世界経済が4%から4.5%の間で成長すると予想しています。対して2021年の成長率は約5.5%でした。多くの国でワクチン接種が目覚ましく進んだにもかかわらず、ボッシュは、新型コロナウイルスが2022年も社会と経済に大きな負荷をかけると予想しています。加えて、今も続く供給不足と、原材料、一次産品および輸送の価格高騰が世界経済に大きな影響を及ぼし、特に自動車業界をはじめとする多くのセクターの事業が影響を被ると見込んでいます。多くの事業セクターと地域におけるインフレの著しい上昇も、今後の展望に影を落としています。ボッシュ・グループは、事業環境がこれ以上混乱しなければ2022年に売上高が増加し、少なくとも前年並みの支払金前税引前利益率を達成できると予想しています。こうした大きな課題に直面してもなお、フォーシュナーは自信を持ち続けています。「ボッシュは、戦略的に重要な分野に投資し、現在の道を歩み続けるための健全な財務基盤を有しています」。それゆえに、ボッシュは、最も重要なセクターと地域において、市場よりも高い成長を遂げることを目標とし続けることができます。

報道用画像: #3c995e37, #cae7be80, #b863a4e0, #2de08a06, #e3ff2b58, #8d4ac17d, #195a706c

インフォグラフィック: # ec085a7a, #ea8316b4, #401ae59a, #de88617e

報道関係対応窓口:

コーポレート・事業・財務関連:

Sven Kahn、電話: +49 711 811-6415、Twitter: @BoschPresse

サステイナブル モビリティ:

Thorsten Schönfeld、電話: +49 711 811-43378、Twitter: @BoschPresse

モビリティのネットワーク化と自動化:

Jörn Ebberg、電話: +49 711 811-26223、Twitter: @joernebberg

人事・社会福祉:

Simon Schmitt、電話: +49 711 811-6478、Twitter: @5imonSchmitt

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2021年の従業員数は約40万1,300人(2021年12月31日現在)、暫定決算報告での売上高は788億ユーロ(約10.2兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、イン

ダストリー4.0 さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステイナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI（人工知能）を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュは 2020 年第一四半期に、世界 400 超の拠点をカーボンニュートラルを達成しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 128 の拠点を約 7 万 6,300 人の従業員が研究開発に、そのうち約 3.8 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ (1861～1942 年) がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 94% は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュ GmbH および創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

*2021 年の為替平均レート、1 ユーロ=129.8855 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)